

書塾の仲間たち

第 240 回

そうがくしゃ かつしか
艸學舎 (東京都葛飾区)



● 書塾からひとこと ●

私たちの教室は新中川の近く、京成高砂駅とJR小岩駅の間、葛飾区の細田というのんびりした町にあります。

筆禅会師家である故寺山旦中先生の紹介で二十数年前、月刊「書写書道」を知りました。大勢の先生方の素晴らしいお手本と詳しい解説で、子どもたちにも非常に馴染みやすい内容でした。現在は「書写書道」誌を軸に、少人数で、時には個人レッスンで毛筆・硬筆・その他の課題に励んでいます。ほかにも希望者には、カレンター・団扇・風・コースターなどに好きな文字を書いたり、墨流しの料紙作り、作品の裏打ち、作品を飾るためのミニ屏風作り（からくり屏風は大人の方にも人気です）、紙漉きなどといった楽しい教室も開いています。

「氣韻生動（いきいきとした気が響き合う）」という言葉があります。「氣韻生動」の表れている書が「生きている書」であり、私たちの心を打つのではないのでしょうか。「いま、ここになり切ることが第一で、ちょうどコマがフル回転し、あたかも静止しているがごとき状態で、そこを無心という。」そんな無心の状態で筆が持てたら最高です。書に取り組むときは、まずミニ坐禅をしてから、墨を磨り始めます。

自分の住所や氏名をしっかり書きたい。写経をしたい。学校の書道の予習をしたい。新しい橋に刻む橋の名を書くことになったので練習したい。——それぞれのやる気を大事にするよう心掛けています。

書道によって心がフル回転し、それが活力となり、学校の勉強や毎日の生活にも心豊かに取り組んでもらいたい、といつも願っています。

艸學舎

神庭 悦子

※書塾に連絡したい方は事務局へお問い合わせください。

学年	小三 小四 小五	現役級	級	氏名	諸橋 柚月
	て	ま	し	よ	う。
	り、	防	災	計	画
	を	立			
	作				



教室の仲間と楽しく取り組んでいます
静岡県裾野市立西小学校五年 諸橋 柚月

私は小学四年生の六月から習字を習い始めました。きっかけは、文字の大きさやバランスが整わないところを直そうと思ったからです。習字を習っている友達に話を聞くと、「とても楽しいよ。」と言っていたので、さらに挑戦してみたくまりました。

習字教室に体験に行くと、先生や同じ学校の友達がやさしくむかえてくれ、とても温かい雰囲気でした。そして、初めて硬筆をやってみた時に、先生がほめてくださり、今も私の励みになっています。私が習う上でがんばっていることは、止め、はね、払いなどをお手本により近づけて書くことです。五年生になり画数の多い字が増えて難しくなりましたが、レッスン初めの先生からの説明やアドバイスをわすれないようにしています。

教室には、私と同じ学校・学年の友達もいます。その友達の上手なところやお手本と比べて、ちがう点を直していくことも楽しいです。クリスマス会や書き初めレッスン、作品展など、同じ教室の仲間とのふれあいや楽しみの一つです。また、書道習っててうれしいのは、私の家族から「前より上手になってるよ」とか、「きれいに書けるようにこれからがんばってね」と言われたり、学校の先生からも「字がていねいできれいだね」とほめられるようになったことです。仲間の支えや家族や先生からのほげましがあって、書道に楽しく取り組んでいます。

私の目標は、月刊書写書道の級を上げて、さらに上の段へ進むことです。これからも目標に向かって、自分の心のまま、上手に字を書いていきたいです。

私と書写書道 第240回

中学	高六	現役級	級	段	氏名	藤原 真由美
	画の妙を得んと欲するならば、書を精しくすべし。書画まことに一途なり。					
	「観我百潭」より					



長男、次男と三人で励んでいます
北砂書写教室（東京都江東区） 藤原 真由美

私自身が幼い頃に書道を習っていたこともあり、わが子にも字を書く楽しさを味わってもらいたいとの思いがあり、長男がひらがなを習い始めたことをきっかけに書道教室へ通わせることにしました。

初めの頃は送り迎えをしながら子どもたちの様子を見ているのみでしたが、年齢や性別にかかわらず多くの方々が真剣に取り組まれている姿勢を見て、「再び書道を学びたい」という思いが強くなり、私も長男とともに教室へ通うことになりました。

これまでの生活で癖がついたせいか、久々の書道は思うように手が動かず、落ち込むこともありましたが、先生方の丁寧なご指導や息子の頑張る姿に助けられ、今日まで楽しく続けられています。

書道には、正しい姿勢や呼吸の仕方、気持ちの落ち着きや集中力などが必要なことから、常に自分との戦いであると感じています。その一方で、子どもから大人までどなたでも自分のペースで取り組める、とてもよい習い事だと考えています。

一昨年から、私たちの姿を見て興味を持った次男も教室に通い始めました。時間帯は異なるものの、現在は三人で通っており、共通の話題ができたことで家庭内の会話も以前より増えたように感じています。

現在は土日などに数回、時間を見つながら通う程度ですが、子どもたちが成長して今より時間が作れるようになったら、もう少し通う回数を増やしながら末永く書道に励んでいきたいと考えています。